

2016年12月期 通期決算概要

ルネサス エレクトロニクス株式会社
2017年2月8日

2016年12月期 通期決算概要

経営者が意思決定する際に使用する指標（以下Non-GAAPベース）を資料上開示しております。

Non-GAAP連結業績は、財務会計上の数値（GAAP）から非経常項目やその他の調整項目を控除したもので、当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。

当社は、平成28年6月28日開催の第14期定時株主総会で、定款一部変更の件を決議し、平成28年度より決算期（事業年度の末日）を3月31日から12月31日に変更しました。決算期変更の経過期間となる平成28年12月期につきましては、平成28年4月1日から平成28年12月31日の9ヶ月間となります。当社は、通期の業績予想に代えて、翌四半期累計期間の業績予想を開示しております。

決算期の変更について

- 2016年度より決算期末を3月末から12月末に変更
- 2016年12月期は、2016年4月から12月の9ヶ月間
- 本資料では、1月から12月の12ヶ月間の「暦年ベース」を業績比較の中心とし、4月から12月の9ヶ月間の「財務報告ベース」を補足的に開示

暦年ベース											
財務報告ベース											
2015年				2016年				2017年			
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
2015年				2016年				2017年			
2015年度（16年3月期）				2016年度（16年12月期）				2017年度（17年12月期）			

2016年 決算概要 (NON-GAAPベース*1)

売上高、半導体売上高の前年同期比、前四半期比、予想比は小数点以下第2位を四捨五入

(億円)	2015年(1-12月)		2016年(1-12月)			
	10-12月	12か月 (1-12月)	7-9月	10-12月	12か月 (1-12月)	前年同期比
売上高	1,648	7,077	1,526	1,664	6,388	△9.7%
半導体売上高	1,609	6,875	1,483	1,614	6,204	△9.8%
売上総利益率	42.2%	43.6%	42.5%	45.6%	43.6%	±0Pts
営業利益(率)	227 (13.8%)	1,061 (15.0%)	166 (10.8%)	228 (13.7%)	780 (12.2%)	△281 (△2.8pts)
親会社株主に帰属 する純利益	163	786	114	259	620	△166
EBITDA*2	387	1,697	315	386	1,388	△309
1米ドル=	121 円	121 円	104 円	105 円	109 円	12円 円高
1ユーロ=	134 円	136 円	116 円	115 円	121 円	15円 円高

*1 Non-GAAPベース：RSP(ルネサスエススピードドライバ)にかかる売上および損益の影響、LTEモデム事業にかかる損益の影響、作り貯めの損益の影響を控除

*2 EBITDA：営業利益+減価償却費+長期前払費用償却額

2016年 業績サマリー (NON-GAAPベース)

半導体売上高
6,204億円
前年同期比: $\triangle 9.8\%$

3要因により売上減

- 円高
- 地震
- 非注力製品からの撤退

売上総利益率
43.6%
前年同期比: ± 0 pts

逆風下でも売上総利益率は前年レベルを維持

- 売上減
- 低GP品増加
- 構造改革の取り組み

営業利益率
12.2%
前年同期比: $\triangle 2.8$ pts

OPEX^{*1}の規律ある運営により、目標水準を達成

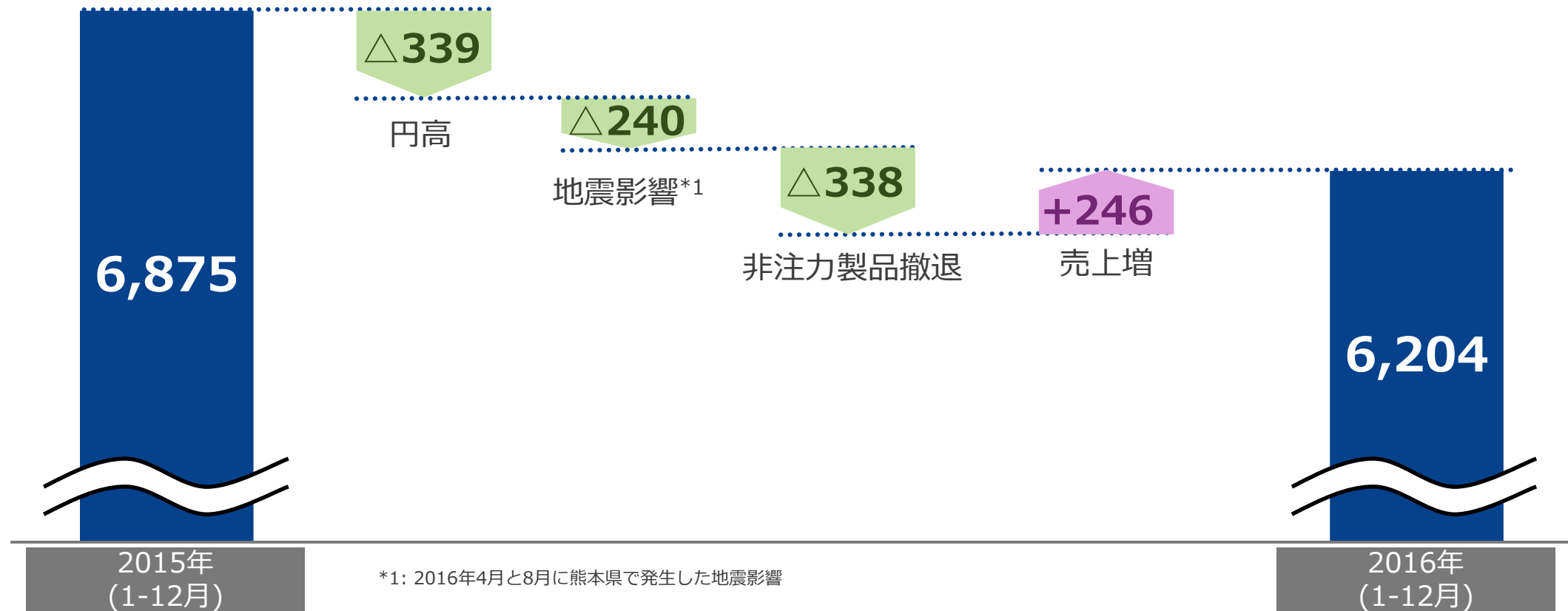
- 成長に向けたR&D^{*2} 増
- SG&A^{*3} の適切な管理

2016年 半導体売上高 (NON-GAAPベース)

前年同期比

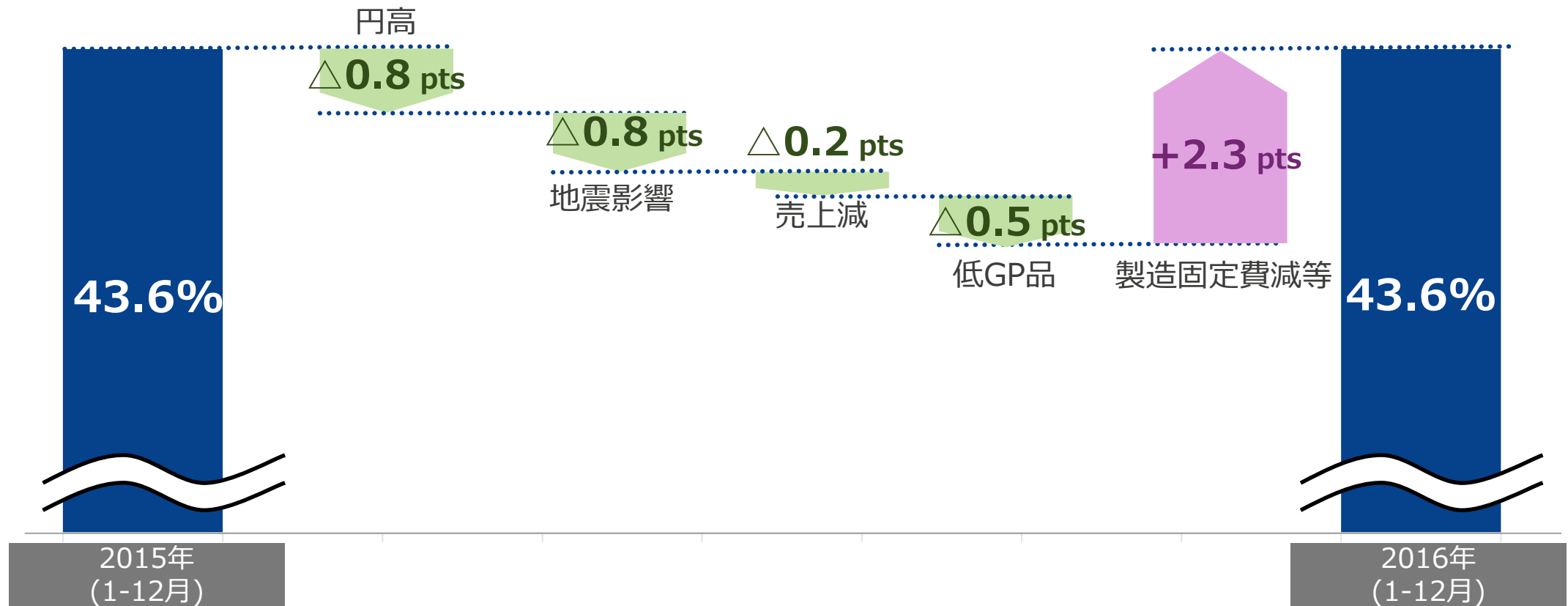
 $\triangle 671$ 億円 ($\triangle 9.8\%$)

(億円)



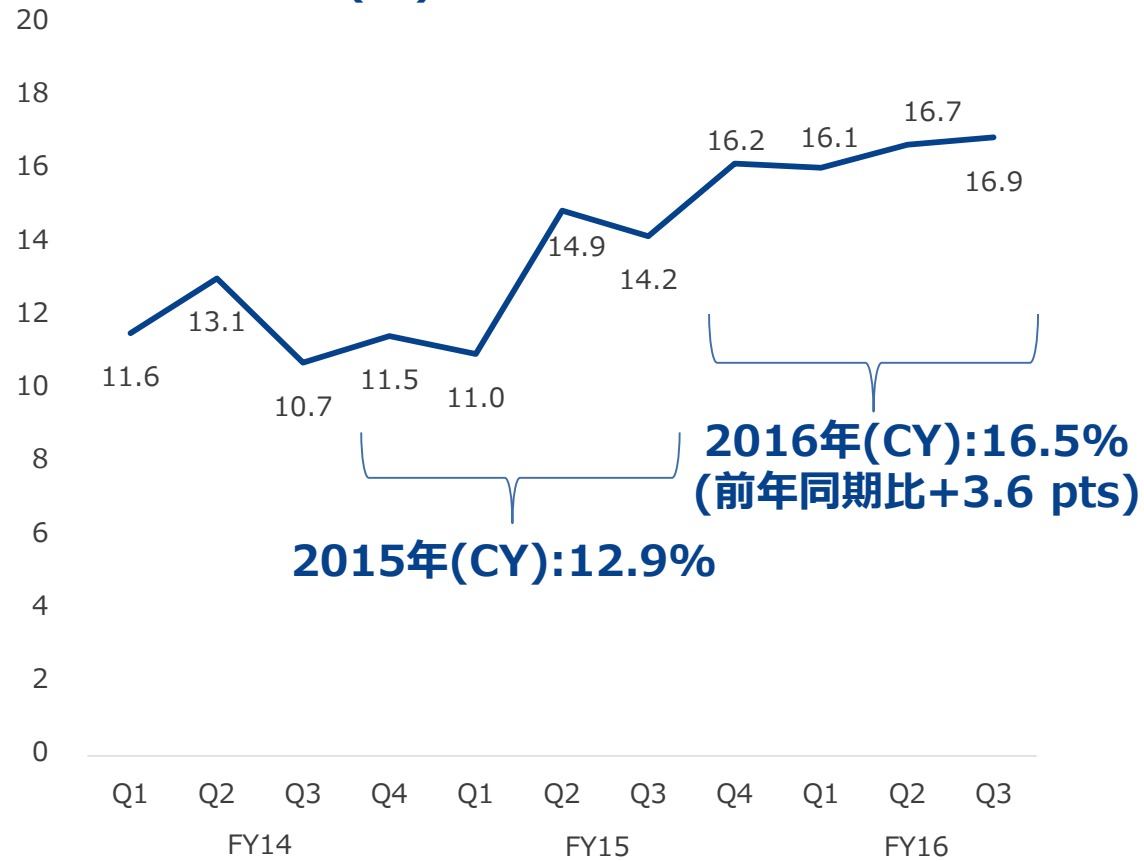
2016年 売上総利益率 (NON-GAAPベース)

前年同期比 **± 0 pts**

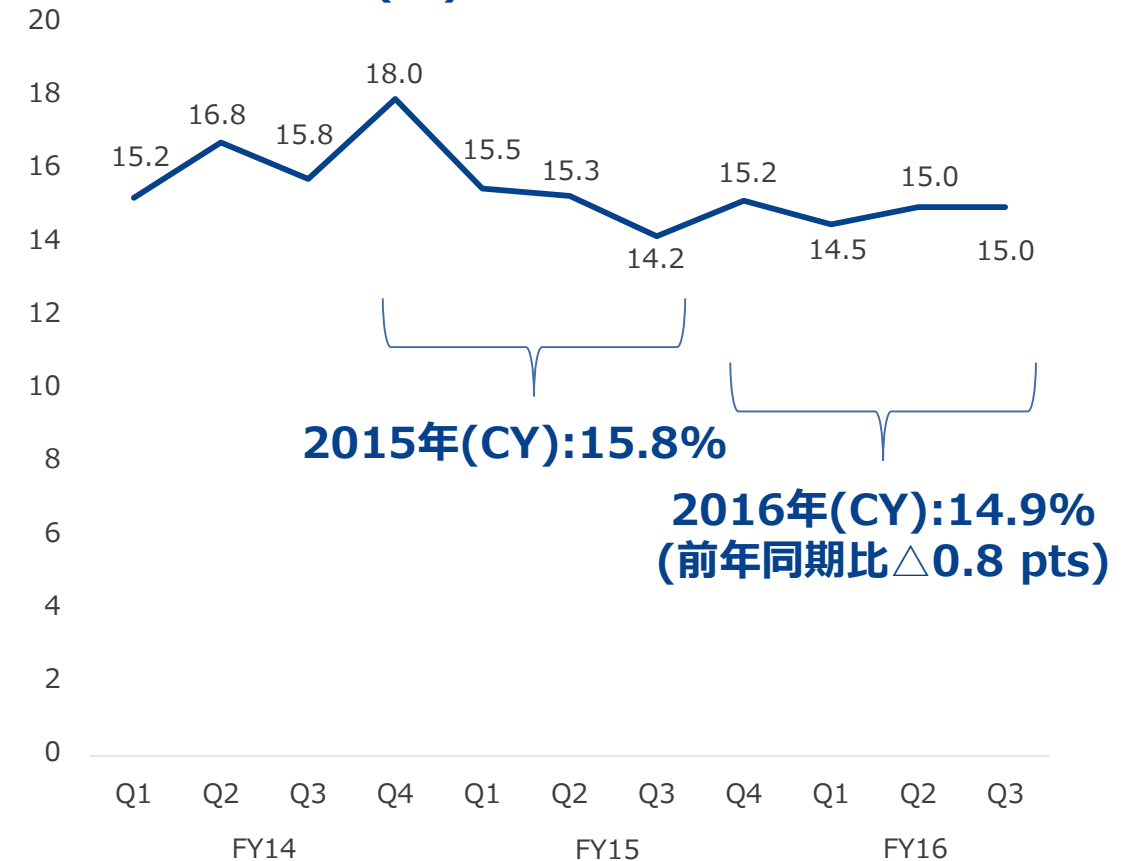


OPEX 推移 (NON-GAAPベース)

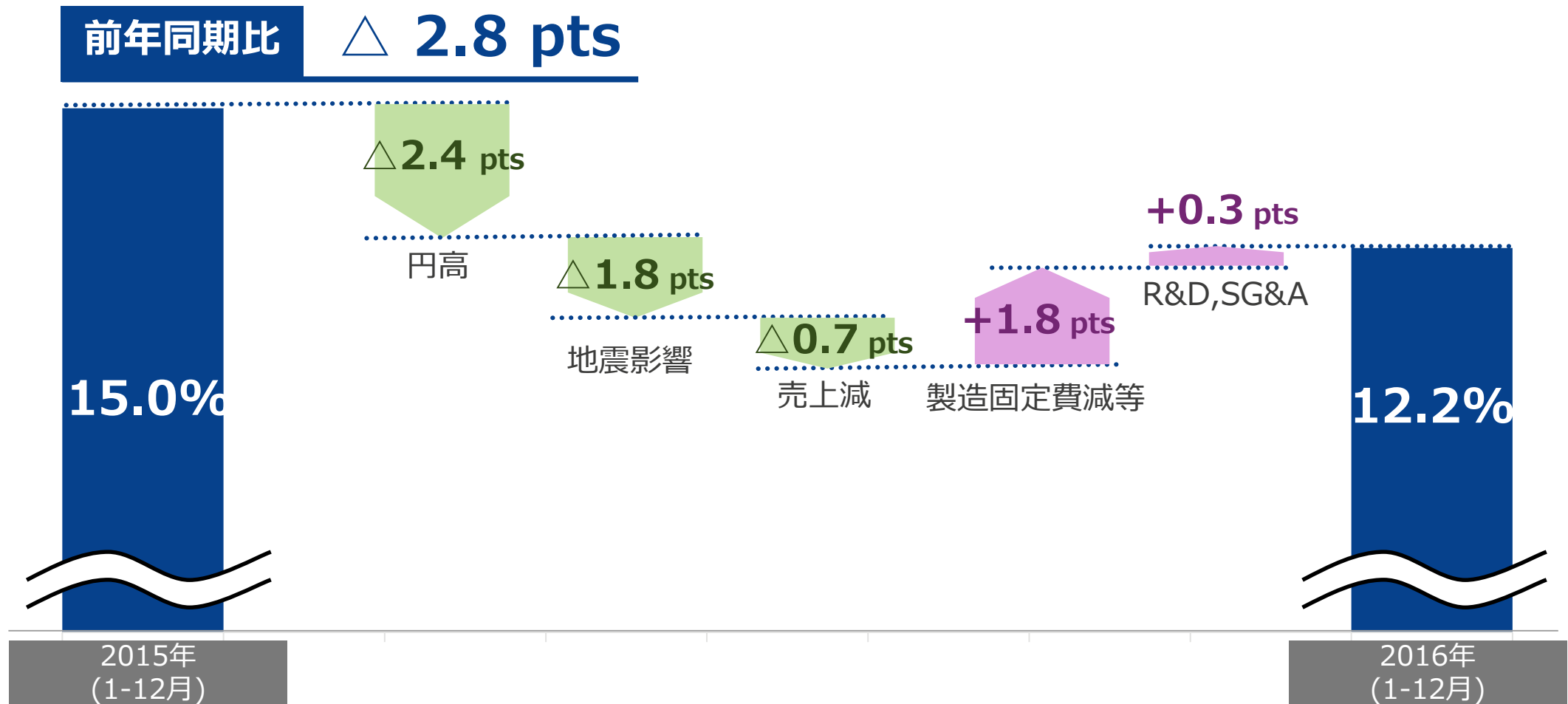
<R&D 比率 (%)>



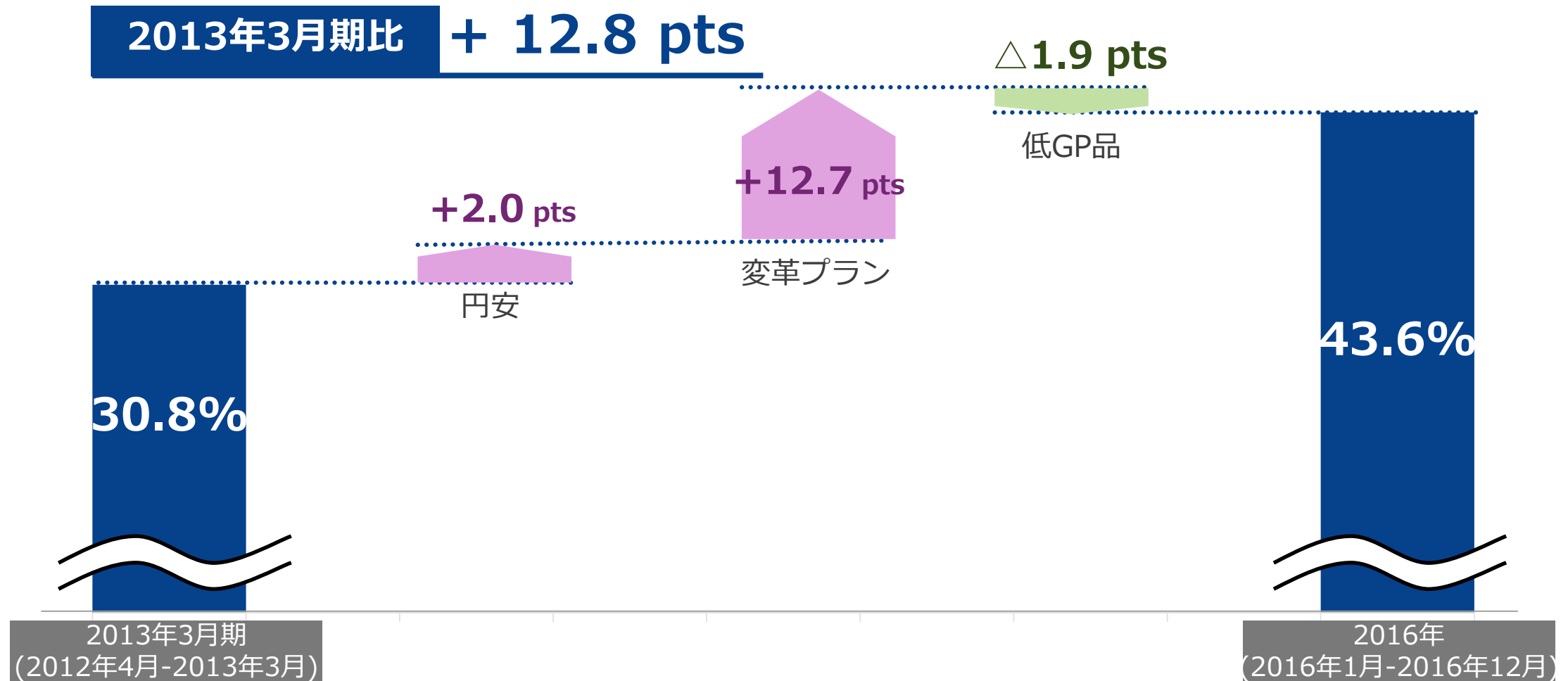
<SG&A 比率 (%)>



2016年 営業利益率 (NON-GAAPベース)



変革プランの成果：売上総利益率 (NON-GAAPベース)



2017年12月期 第1四半期業績予想

2017年12月期 第1四半期業績予想 (NON-GAAPベース)

(億円)	2016年3月期	2016年12月期	2017年12月期		
	第4四半期 (1-3月)	第3四半期 (10-12月)	第1四半期予想 (1-3月)	前年同期比	前四半期比
売上高	1,678	1,664	1,710	+1.9%	+2.7%
半導体売上高	1,632	1,614	1,670	+2.3%	+3.5%
売上総利益率	42.1%	45.6%	43.5%	+1.4 pts	△2.1 pts
営業利益(率)	178 (10.6%)	228 (13.7%)	233 (13.6%)	+55 (+3.0 pts)	+5 (△0.1 pts)
親会社株主に帰属 する純利益	124	259	193	+69	△66
EBITDA	333	386	388	+55	+2
1米ドル=	118 円	105 円	111 円	7円 円高	6円 円安
1ユーロ=	130 円	115 円	118 円	12円 円高	3円 円安

2017年12月期 第1四半期業績予想サマリー (NON-GAAPベース)

半導体売上高
1,670億円
前四半期比: +3.5%

売上成長に向けた第一歩

- 自動車向けの旺盛な需要継続
- 地震からのリカバリー
- 円安

売上総利益率
43.5%
前四半期比: $\triangle 2.1$ pts

売上増となるも、在庫評価影響により一時的に減

- 売上増による利益増
- 期初の在庫単価改定による評価損発生

営業利益率
13.6%
前四半期比: $\triangle 0.1$ pts

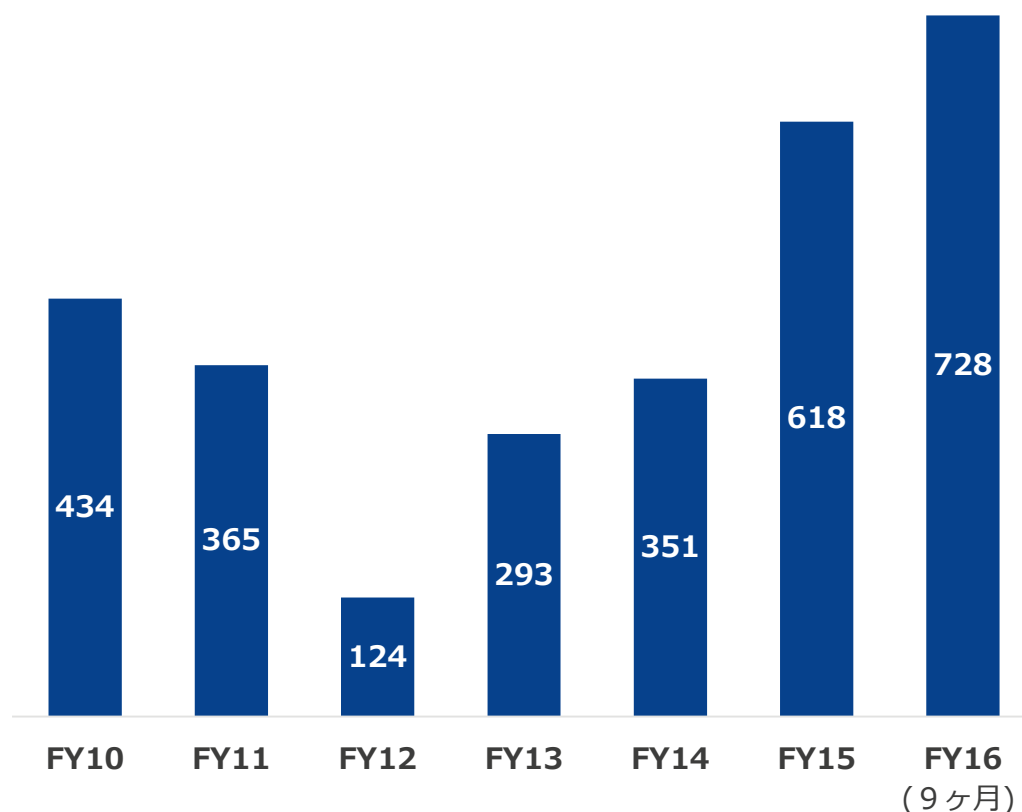
前四半期の費用集中が平準化

- 成長に向けたR&Dは継続
- SG&Aは平準化により低下

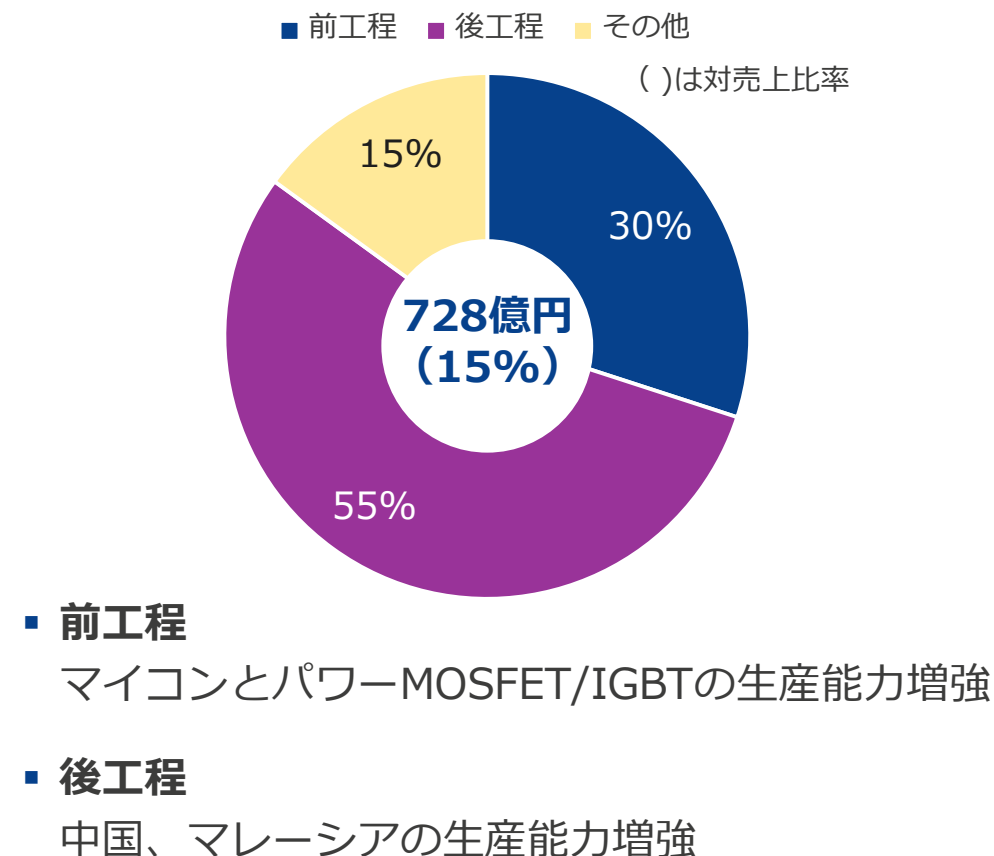
今後の成長に向けた原資確保

成長を確実にするため2015年度と2016年度の設備投資*1は高水準だが、
中期的成長と利益率向上に寄与

< 設備投資額推移（億円） >



< 2016年度(4-12月)の設備投資 >

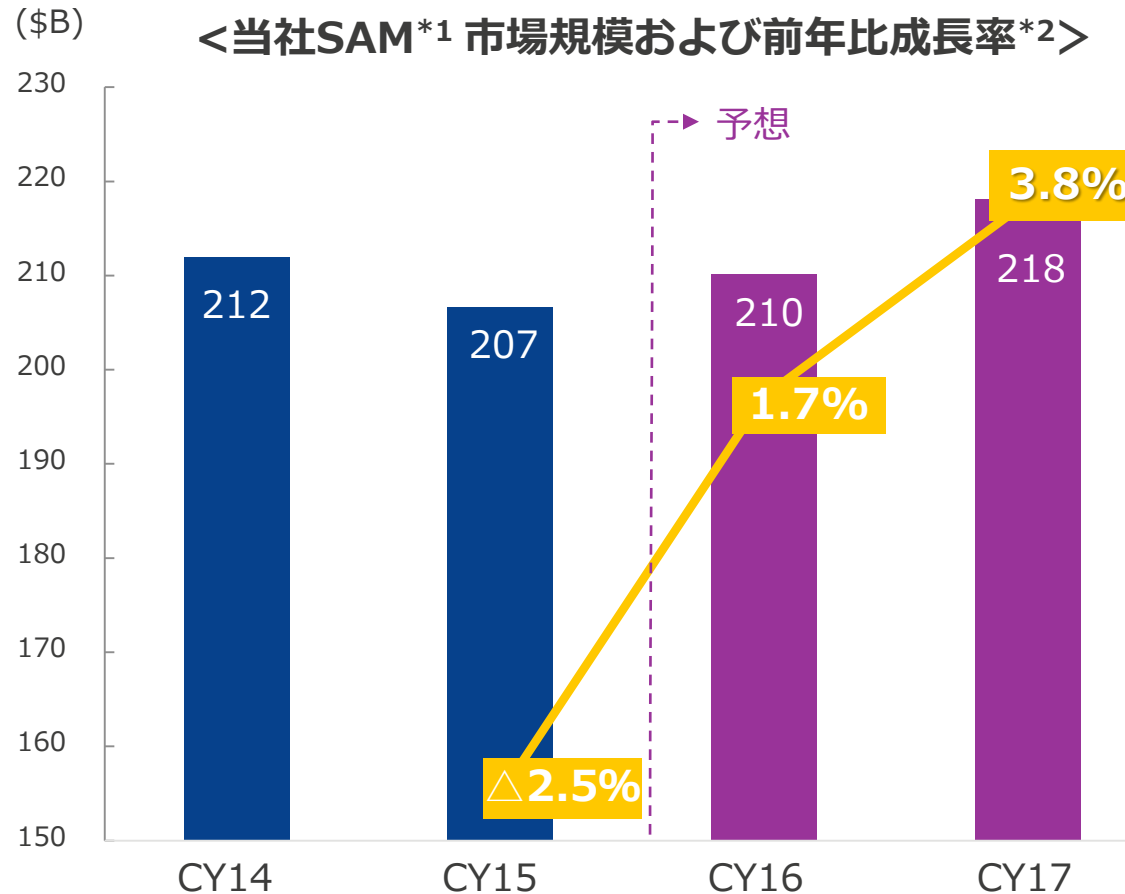


2017年12月期に向けて



2017年の半導体市場

注力市場の高い伸びを受け、3.8%の市場成長率を上回る成長へ



■ 自動車向け半導体市場 (SAM)



CY17 : 前年比+5.6%*2

自動運転などによる半導体搭載量の増加により、堅調な成長を見込む

■ 産業・民生向け半導体市場 (SAM)



CY17 : 前年比+6.6%*2

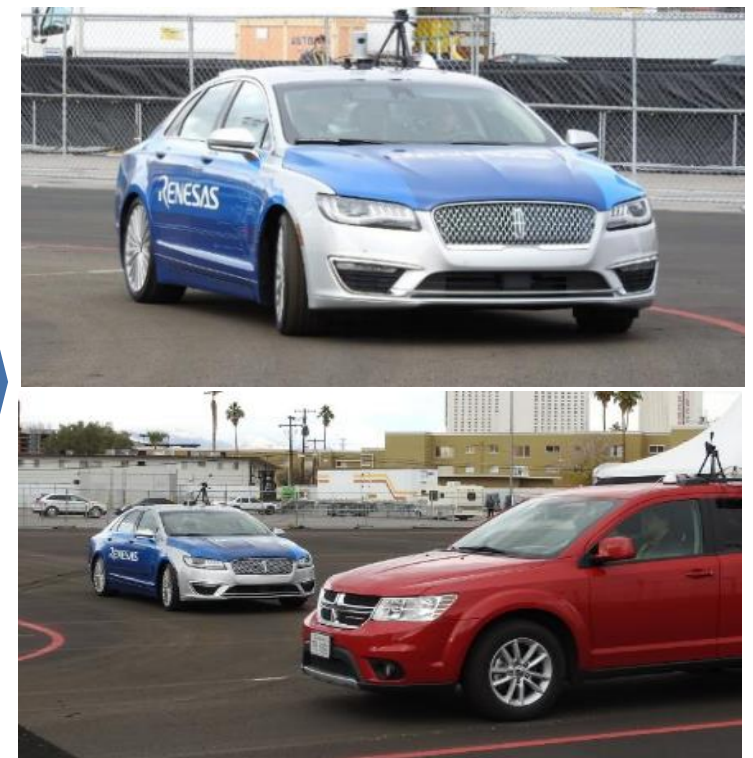
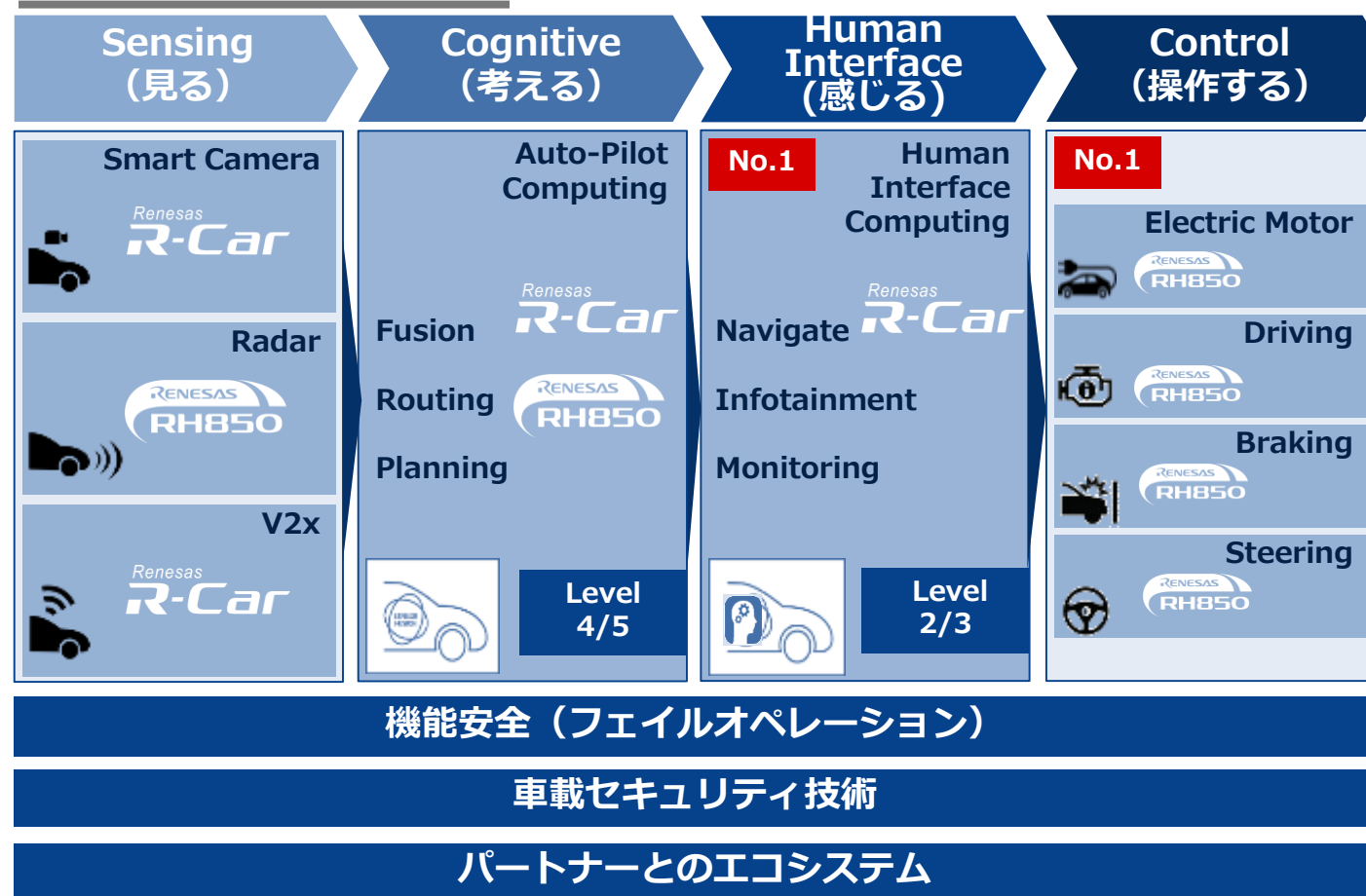
2017年もIoT, Industry 4.0, AIが引き続きホットなトピックとして、市場成長を牽引

*1 SAM: Served Available Marketの略で、全半導体から、DRAM, Flash Memory (NAND, NOR), Microprocessor, Non-optical Sensorを除いた当社対象市場のこと

*2 出典 : Gartner, Semiconductor Forecast Database, Worldwide, 4Q16 Update 23 December, 2016
ガートナーのリサーチを基に当社にてグラフを作成

ルネサスのソリューションが実現する自動運転

パートナー8社と協力して2017年のCESでワンストップソリューションデモ実施



自動車事業での豊富な実績

2016年度は、新規商談（D-in）の獲得金額が9か月で過去最高を更新し、新規顧客層を拡大



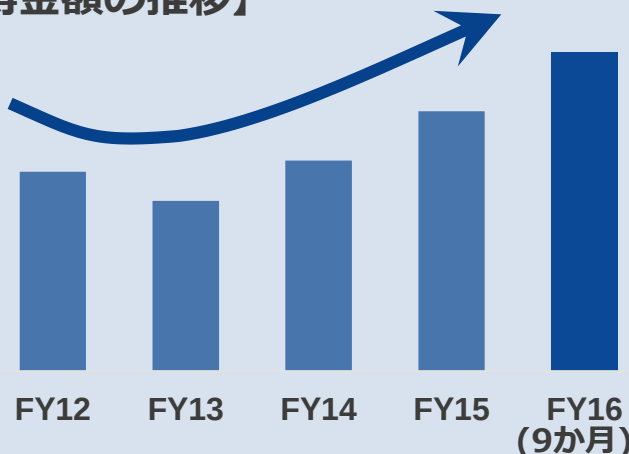
BiCDMOS*1



190社のパートナー企業

【新規商談
獲得金額の推移】

自動運転/エコカー向けが牽引
し、LTVは6,500億円を突破



LTV(顧客生涯価値)*2 100億円以上の大型案件例

	顧客	量産時期
ADAS	欧州電装部品メーカーA社	2019年
	欧州電装部品メーカーB社	2019年
	欧州電装部品メーカーC社	2019年
HEV/EV	中国自動車メーカーD社	2019年
Info-tainment	日系電装部品メーカーE社	2019年
Body	欧州電装部品メーカーC社	2019年
Power-train	欧州電装部品メーカーC社	2019年

*1: Bipolar CMOS DMOS

*2: Life Time Valueの略で顧客が生涯にわたって企業にもたらす価値(売上)の総額



スマート社会の進化に貢献

既存市場での強いポジションを基に、コア技術を活用し、スマート社会への取り組みを加速、商談件数も増加中

SMART HOME



- IoT向けトラステッドセキュアIP搭載マイコン
 - 家電、電力メータなどで500件超商談中

SMART FACTORY



- 中国FA向け産業イーサネット、サーボモータ向けコントローラ
 - 商談中案件がFY15比3倍の180件に増加

SMART INFRASTRUCTURE



- 新興国向けスマートメータ計量マイコン
 - インド電力メータでのシェア50%超、アセアンに拡大中

INTELLIGENCE (e-AI*1)

SECURITY

SENSING

FUNCTIONAL SAFETY

ACTUATION

CONNECTIVITY

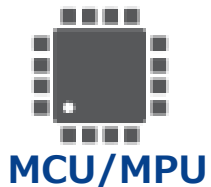
*1: embedded Artificial Intelligence

新プラットフォームによる組み込み開発の革新

動作保証済みのソフトウェアパッケージとエコシステムの提供により、
お客様への提供価値拡大

Renesas Synergy™プラットフォーム

RZ/G Linux プラットフォーム



MCU/MPU



マルチメディア
ミドルウェアなど

OS

ソフトウェア
パッケージ



クラウド上の開発ツール、
オプションのソフトウェ
ア、
開発コミュニティ

お客様への提供価値



■ 開発期間の短縮



■ 総コストの削減

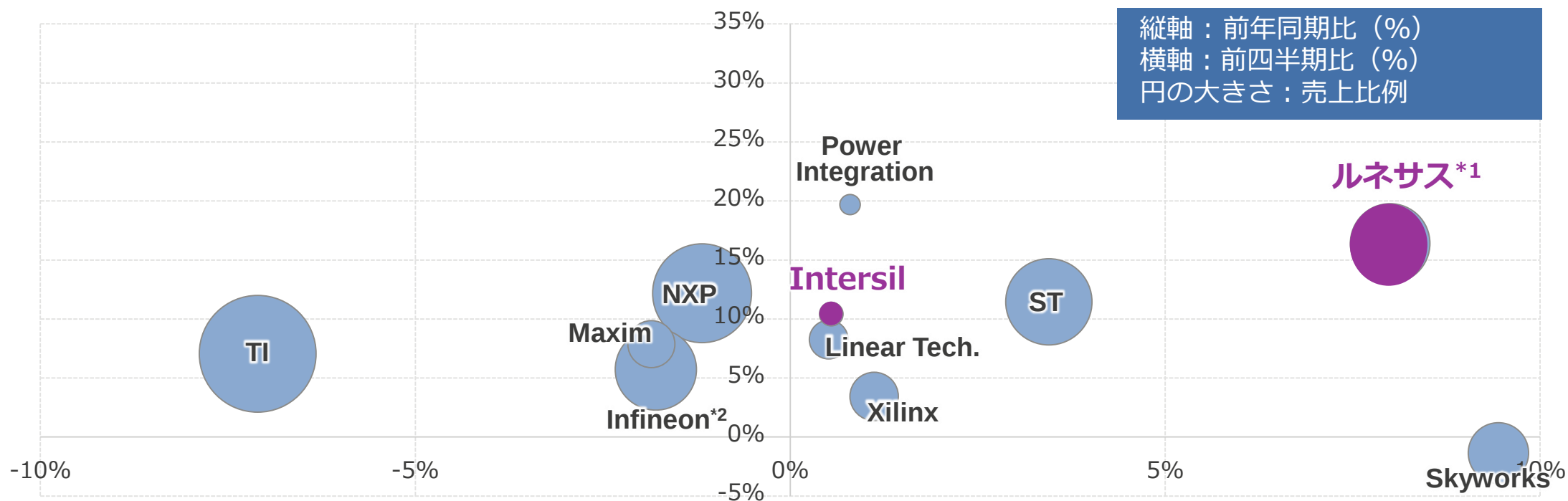


■ 参入障壁の解消

半導体各社売上成長比較（16年10-12月期）

当社は前四半期比/前年同期比ともに増加し、成長路線に回帰

前四半期比/前年同期比 成長率比較



*1: ルネサスは売上高(円ベース)を決算レートでUS\$換算 *2: Infineonは€ベース

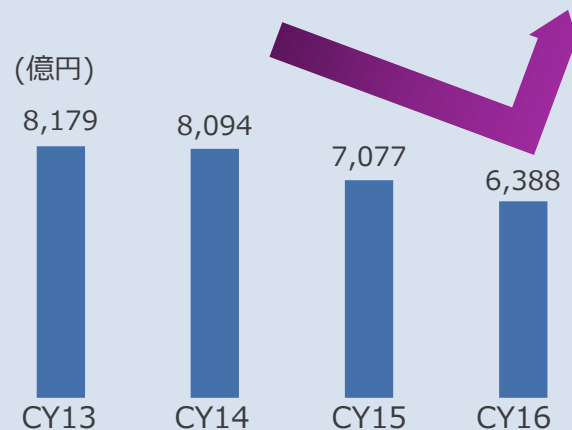
(出典 :会社資料)

READY FOR GROWTH

中期成長戦略の初年度として2017年12月期がスタート

■ 売上面

- 2016年にボトムアウト
- 注力市場で成長



■ 利益面

- 成長市場でのR&D集中投下を継続
- お客様の需要に応えるとともに、フレキシビリティ向上とスマートファクトリー化を狙った新生産モデル構築のため、設備投資は引き続き高水準
- 売上増やIntersilとの統合、低GP品のGP改善などにより、利益拡大

intersilTM



APPENDIX

本パートでは、2016年12月期を2016年4月1日から2016年12月31日の9か月間とする財務報告ベースの数値を補足情報として掲載しています。

GAAPとNon-GAAP間の調整項目

(億円)	2015年3月期				2016年3月期				2016年12月期			2017年12月期
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	前4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第1四半期
半導体売上高 (GAAP) ①	2,012	1,996	1,774	1,751	1,745	1,770	1,609	1,632	1,475	1,483	1,614	1,670
RSP*1②	△176	△210	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
半導体売上高 (Non-GAAP) ①+②	1,836	1,786	1,774	1,751	1,745	1,770	1,609	1,632	1,475	1,483	1,614	1,670
売上総利益 (GAAP) ①	805	816	786	781	798	855	718	685	651	629	747	740
RSP②	△60	△64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
作り貯め*2③	△26	△17	△17	△14	△4	△23	△23	+21	+23	+20	+12	+3
売上総利益 (Non-GAAP) ①+②+③	719	735	769	767	794	832	695	706	674	649	759	743
営業利益 (GAAP) ①	270	235	295	244	324	307	250	157	186	146	216	230
RSP②	△39	△40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
作り貯め④	△26	△17	△17	△14	△4	△23	△23	+21	+23	+20	+12	+3
営業利益 (Non-GAAP) ①+②+③+④	205	179	278	230	320	284	227	178	209	166	228	233
R&D (RSP)	18	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SG&A (RSP)	3	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

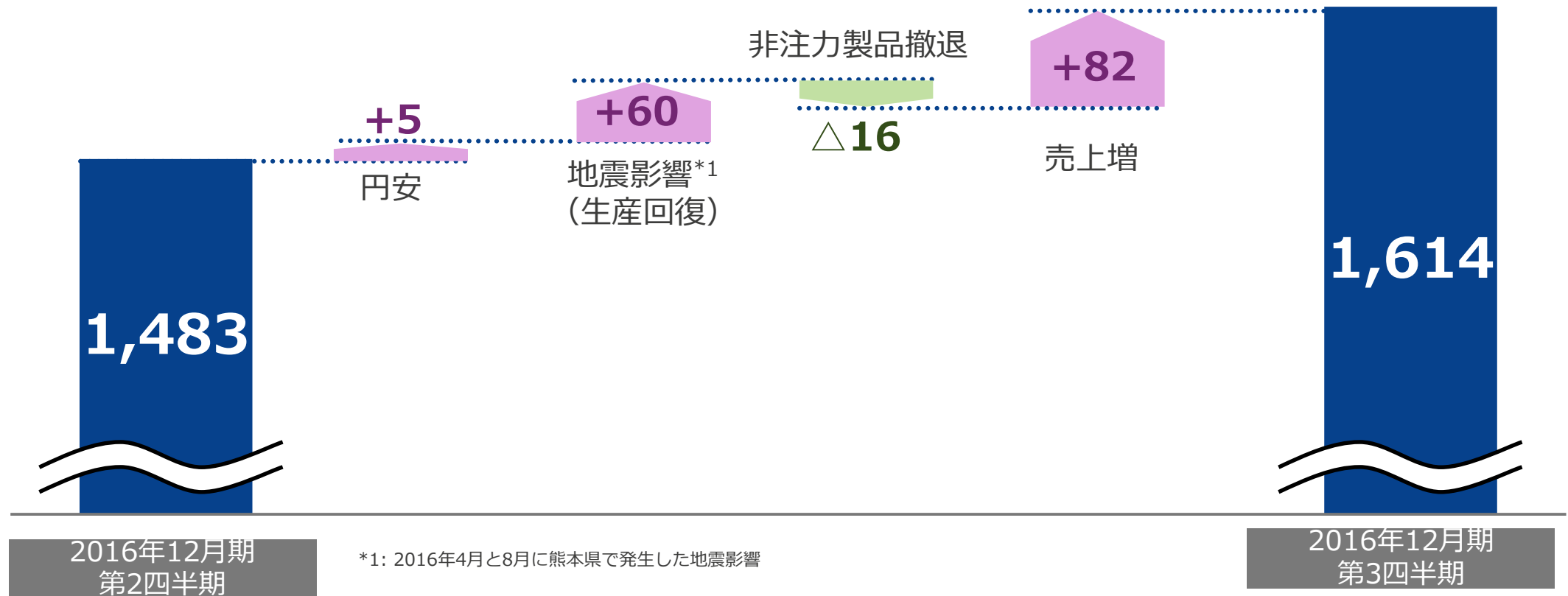
*1 RSP : 2014年10月1日に譲渡したルネサスエスピードライバの売上高および営業損益

*2 作り貯め : 工場再編に伴う、EOL製品の作り貯めにかかる損益

2016年12月期 第3四半期 半導体売上高 (NON-GAAPベース)

前四半期比 + 131億円 (+8.8%)

(億円)

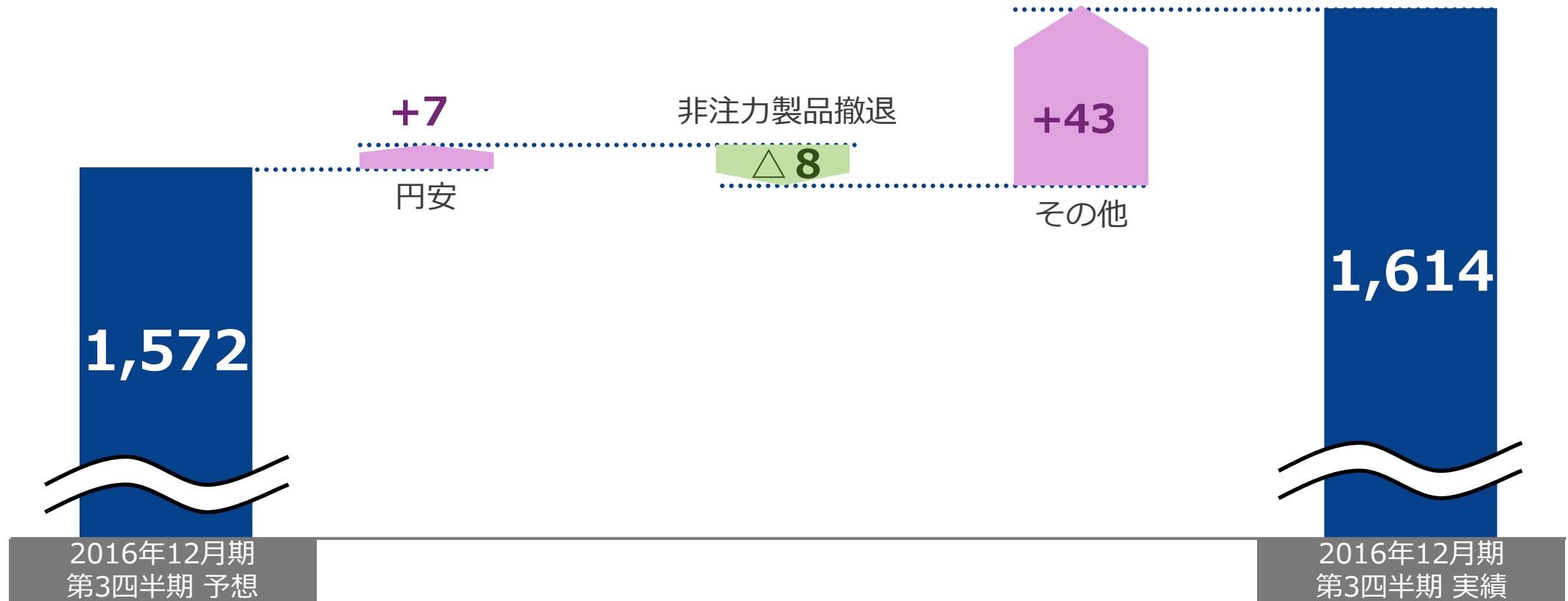


2016年12月期 第3四半期 半導体売上高 (NON-GAAPベース)

予想比

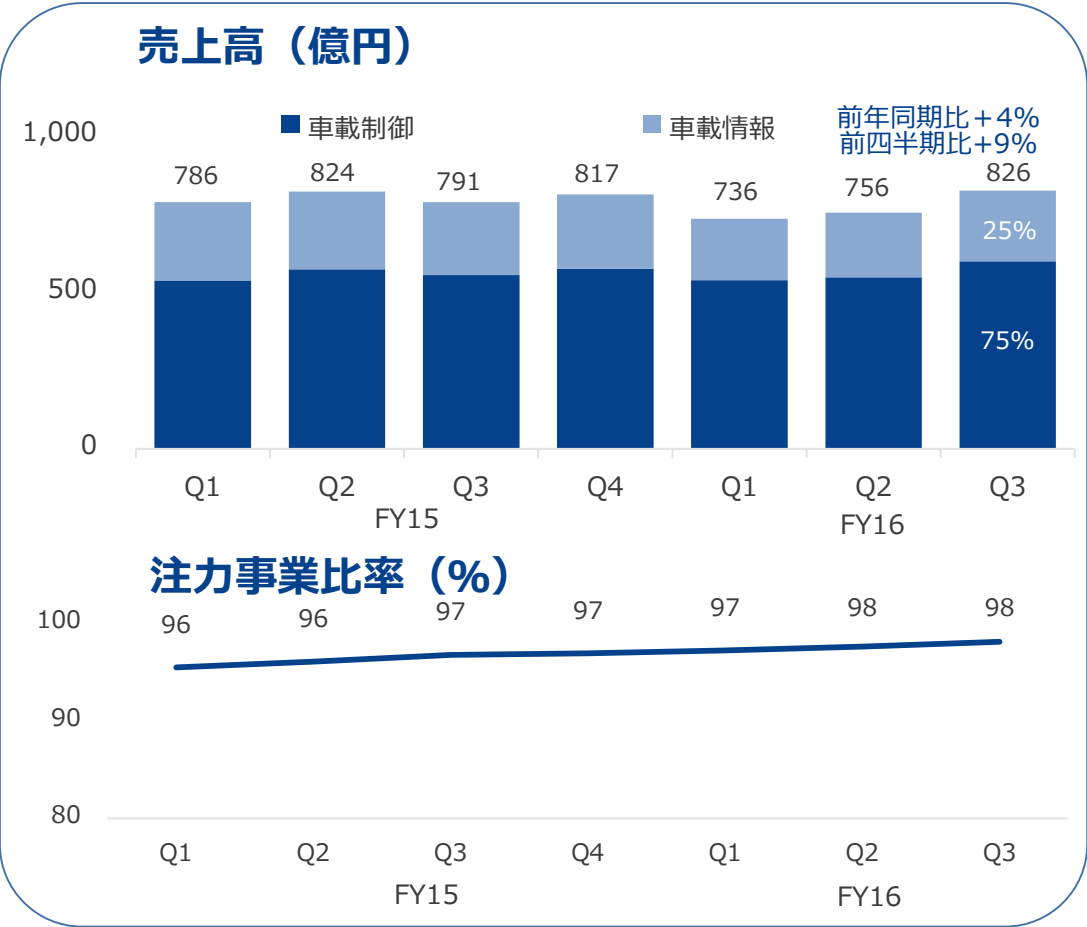
+ 42億円 (+2.7%)

(億円)

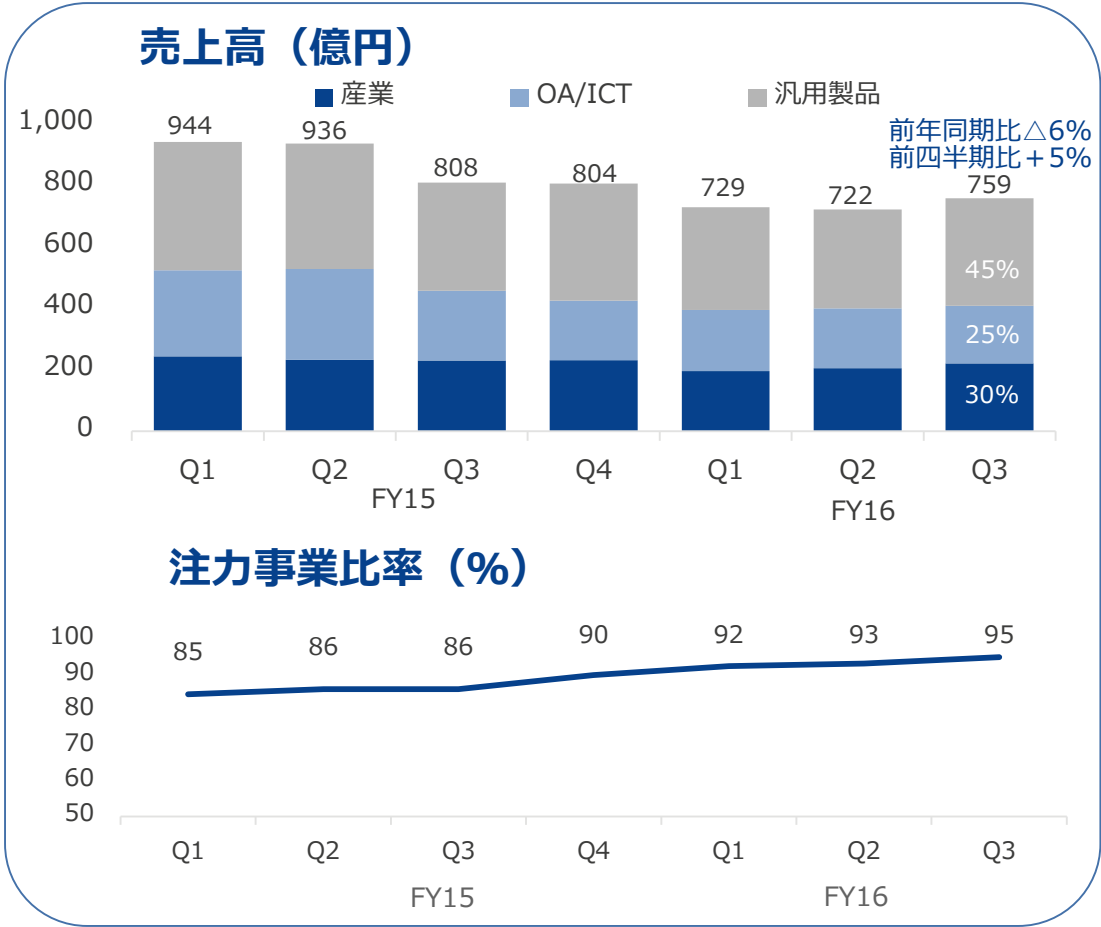


半導体売上高の事業別推移(Non-GAAPベース)

自動車向け事業

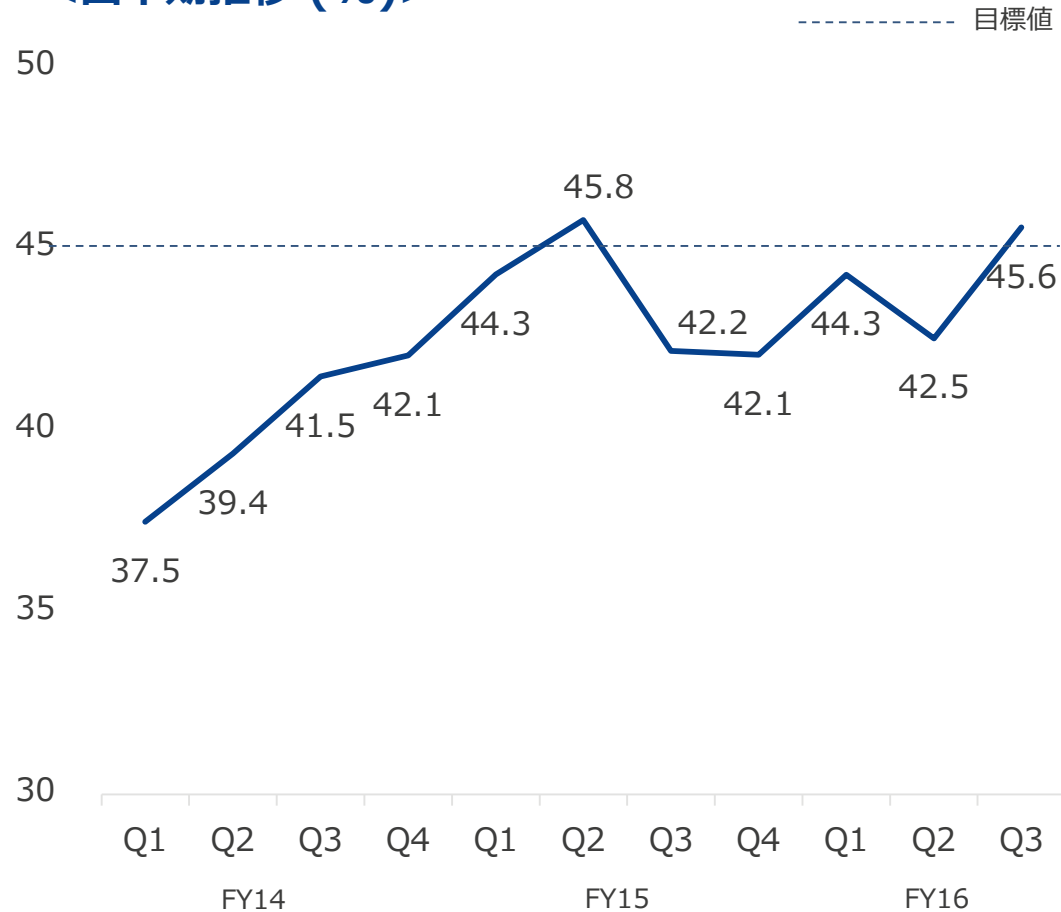


汎用向け事業

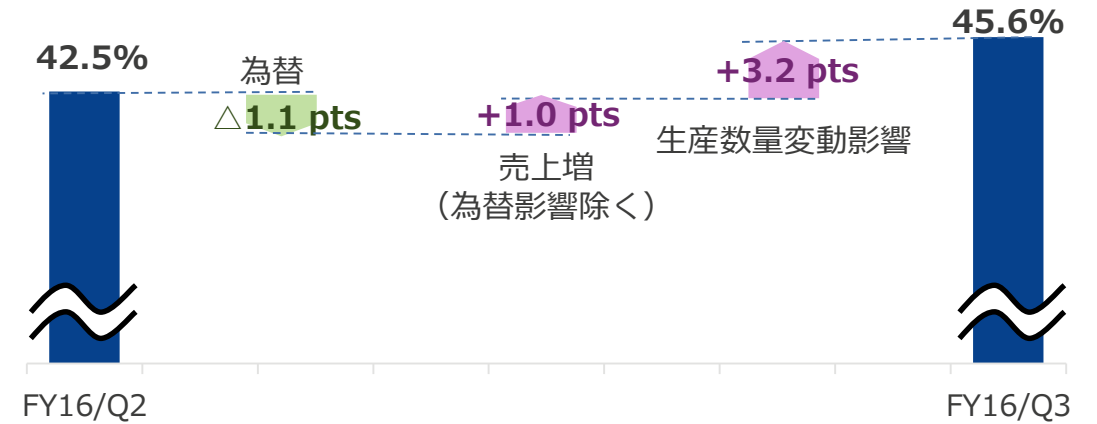


売上総利益率 (NON-GAAPベース)

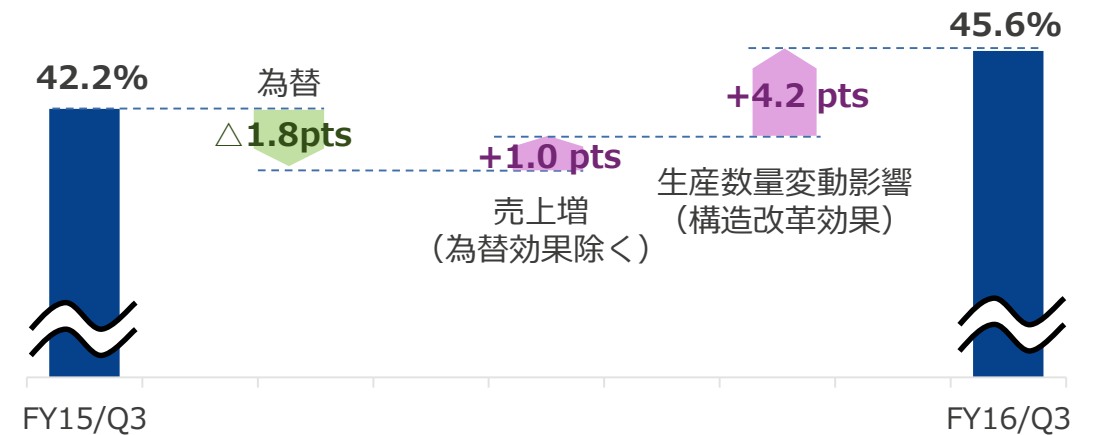
<四半期推移 (%)>



<前四半期比>

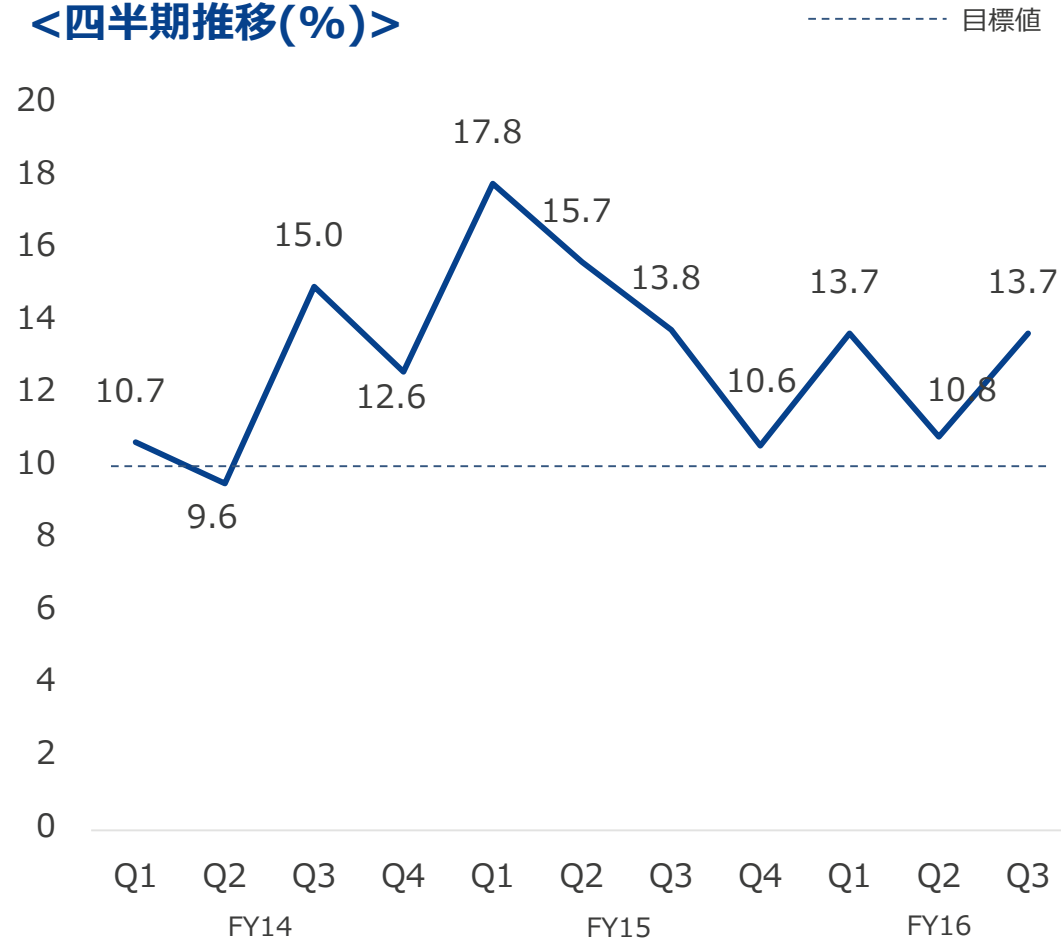


<前年同期比>

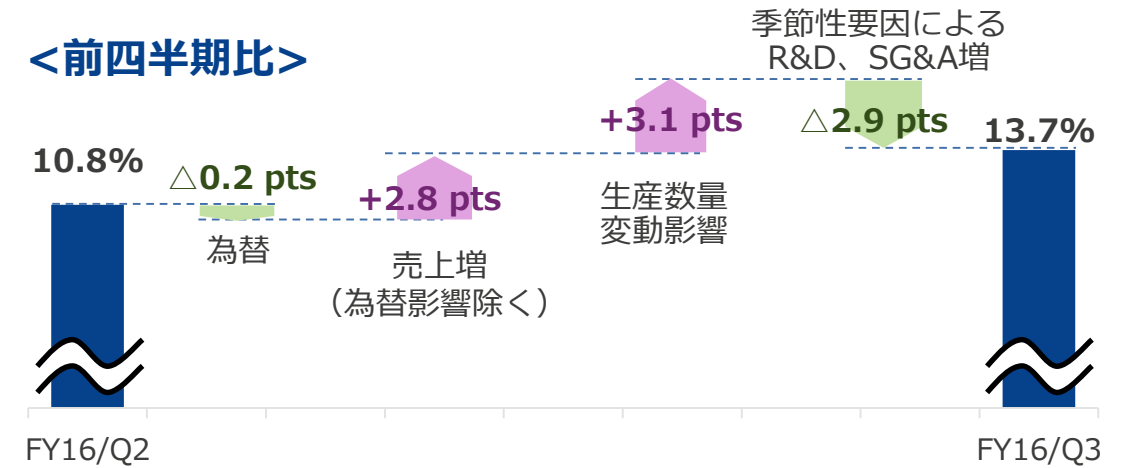


営業利益率 (NON-GAAPベース)

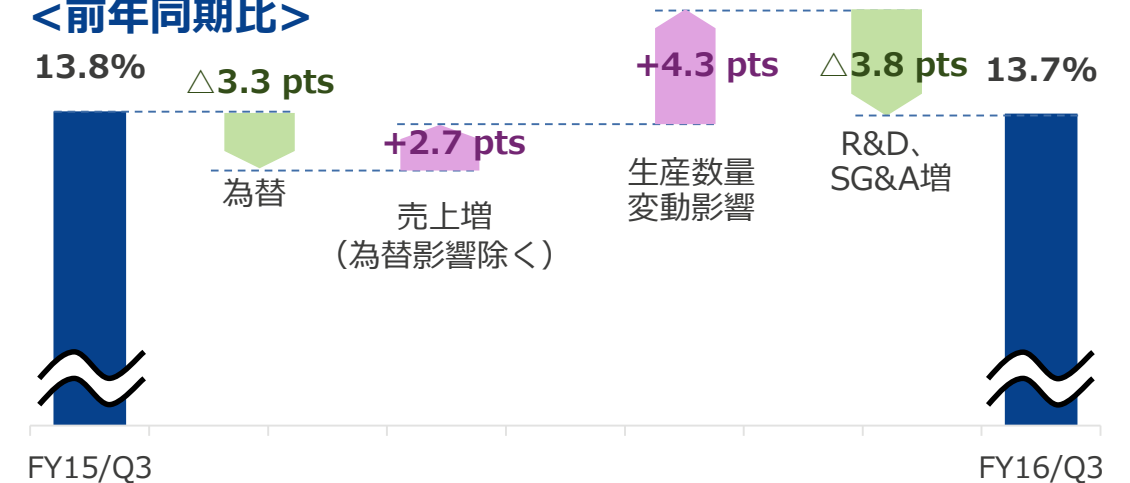
<四半期推移(%)>



<前四半期比>

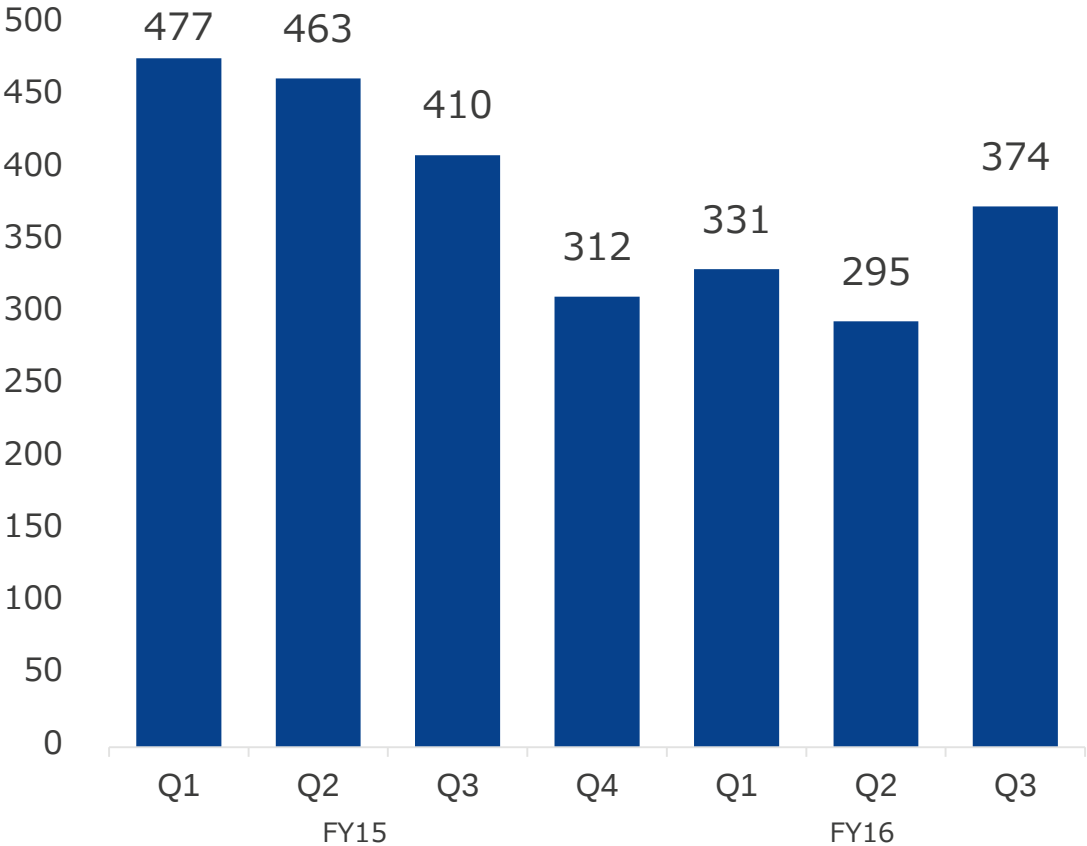


<前年同期比>

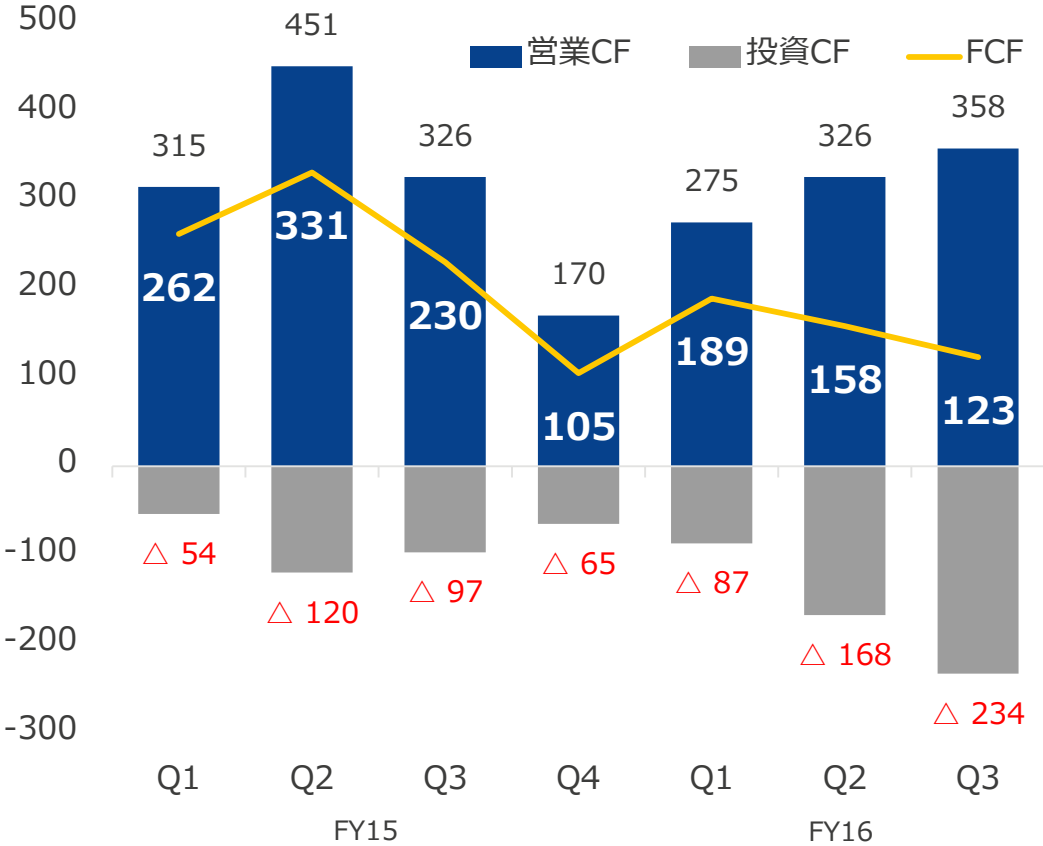


EBITDAおよびキャッシュ・フローの状況

<EBITDA (億円)>



<キャッシュ・フロー (億円)>



バランスシートの状況

(億円)	2016年3月末	2016年6月末	2016年9月末	2016年12月末
総資産	8,494	8,232	7,582	8,231
うち 現金及び現金同等物	3,984	3,973	3,262	3,543
うち たな卸資産	1,084	970	921	973
負債合計	4,676	4,477	3,762	4,007
うち 有利子負債	2,443	2,379	1,579	1,573
株主資本	3,641	3,741	3,835	4,083
純資産合計	3,817	3,755	3,820	4,224
D/Eレシオ (グロス)	0.64	0.64	0.42	0.37
自己資本比率	44.7%	45.4%	50.1%	51.0%

(注) ①現金及び現金同等物：「現金及び預金」と「有価証券」の単純合算値から「預入期間が3ヶ月を超える定期預金」を控除しております。

②有利子負債：「短期借入金」、「1年内返済予定の長期借入金」、「リース債務」、「長期借入金」

③自己資本：「株主資本」、「その他の包括利益累計額」 ④D/Eレシオ(グロス)：有利子負債／自己資本

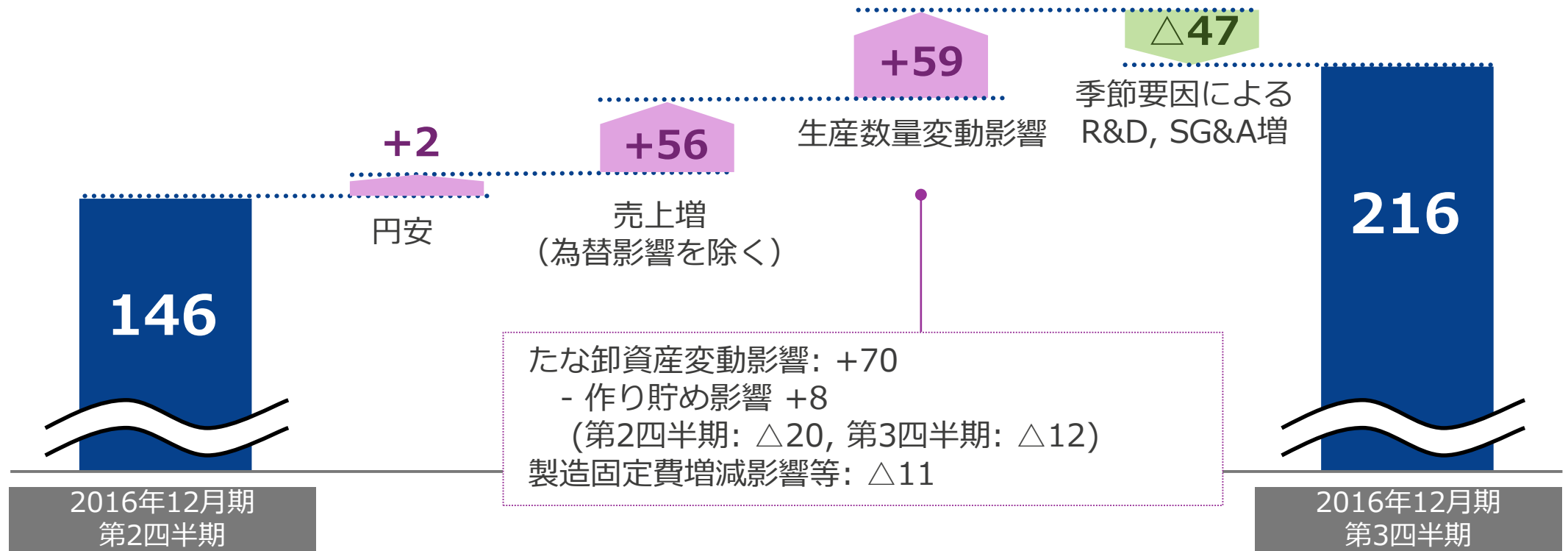
16年12月期通期(9ヶ月間) 決算概要

(億円)	2016年3月期		2016年12月期						
	第3四半期	9ヶ月間累計 (4-12月)	第2四半期	第3四半期 予想	通期 (4-12月) 予想	第3四半期 実績	通期 (4-12月) 実績	予想比	前年同期比
売上高	1,648	5,255	1,526	1,614	4,660	1,664	4,710	+1.1%	-10.4%
半導体売上高	1,609	5,124	1,483	1,572	4,530	1,614	4,572	+0.9%	-10.8%
売上総利益率	43.6%	45.1%	41.2%	42.8%	42.3%	44.9%	43.0%	+0.8pts	-2.1pts
営業利益(率)	250 (15.1%)	881 (16.8%)	146 (9.5%)	209 (12.9%)	540 (11.6%)	216 (13.0%)	547 (11.6%)	+7 (±0)	-333 (-5.1pts)
親会社株主に帰属 する純利益	186	760	94	176	340	247	441	+71	-319
EBITDA	410	1,349	295	364	989	374	1,000	+11	-350
1米ドル=	121 円	122 円	104 円	104 円	106 円	105 円	106 円	-	15円 円高
1ユーロ=	134 円	134 円	116 円	114 円	118 円	115 円	118 円	-	16円 円高

2016年12月期 第3四半期 営業利益

前四半期比 + 70億円 (+47.9%)

(億円)

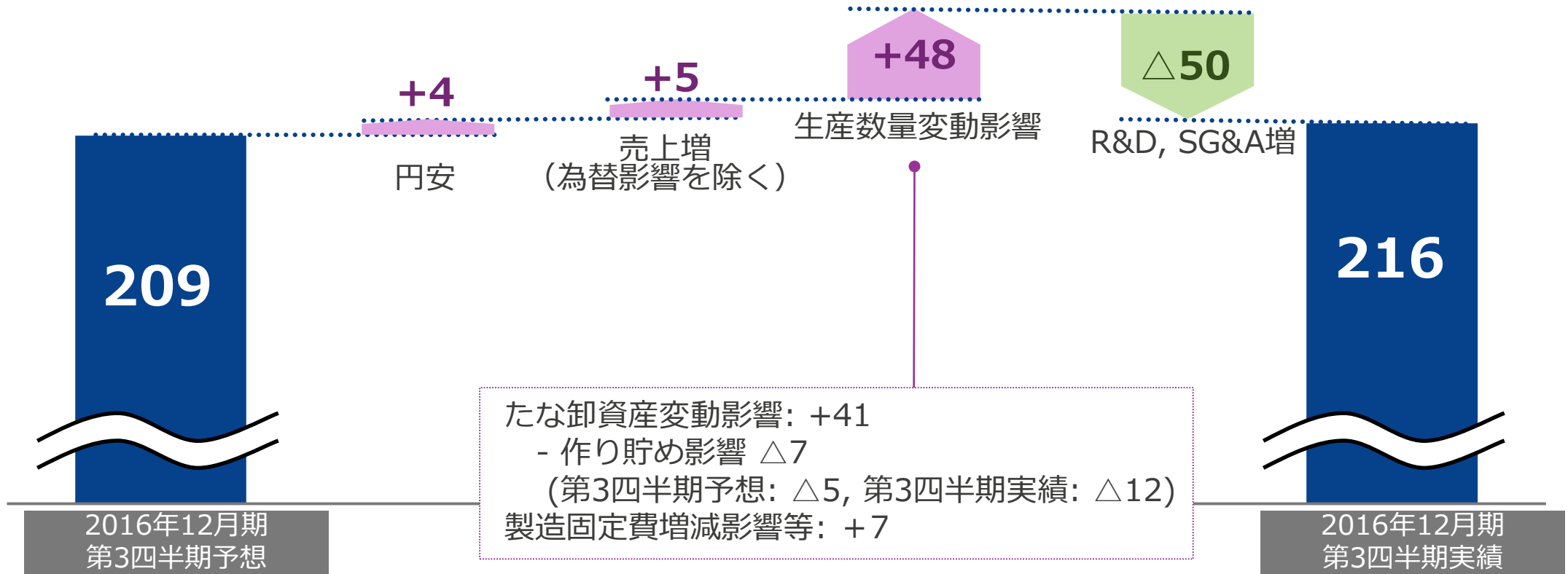


2016年12月期 第3四半期 営業利益

予想比

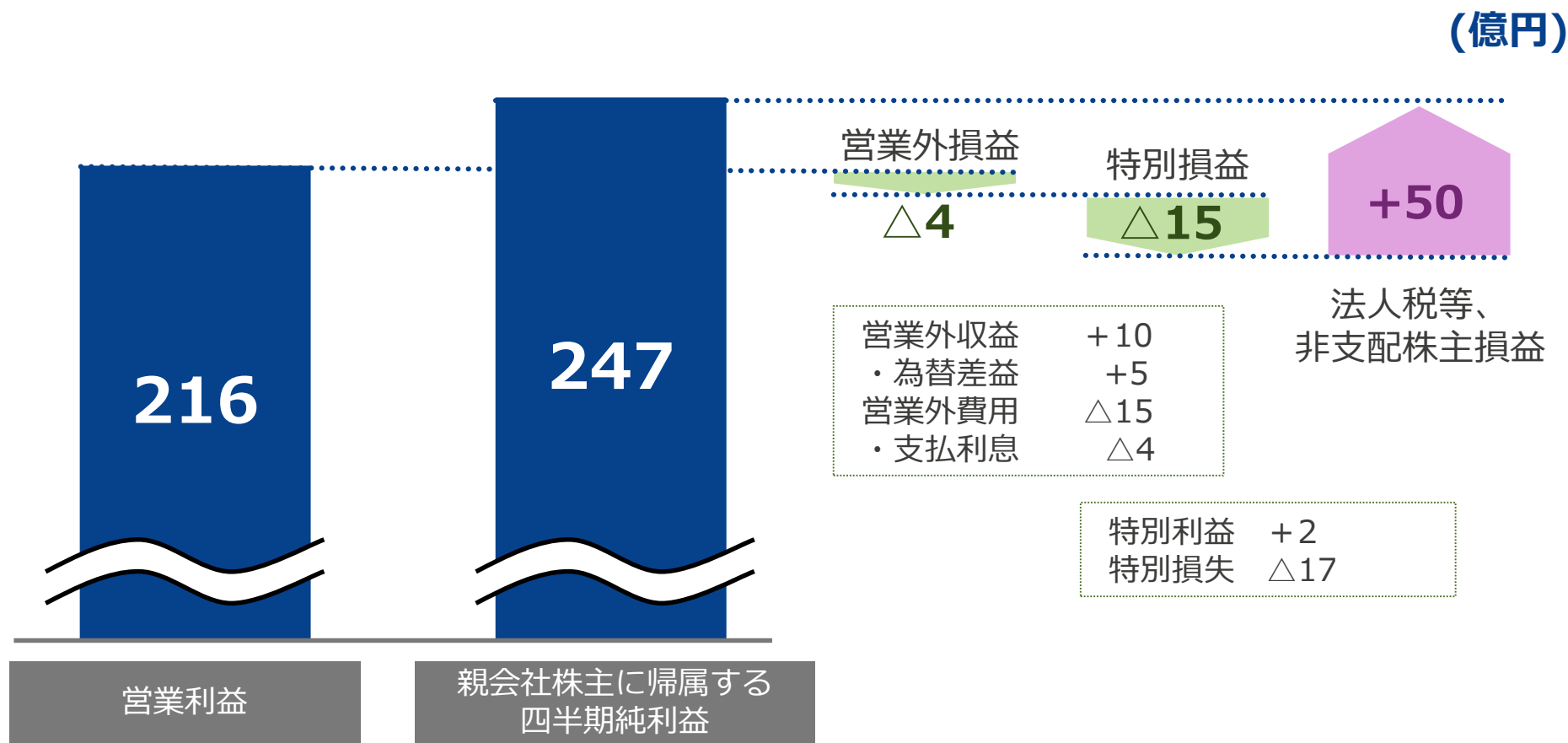
+ 7億円 (+3.4%)

(億円)



2016年12月期 第3四半期

親会社株主に帰属する四半期純利益

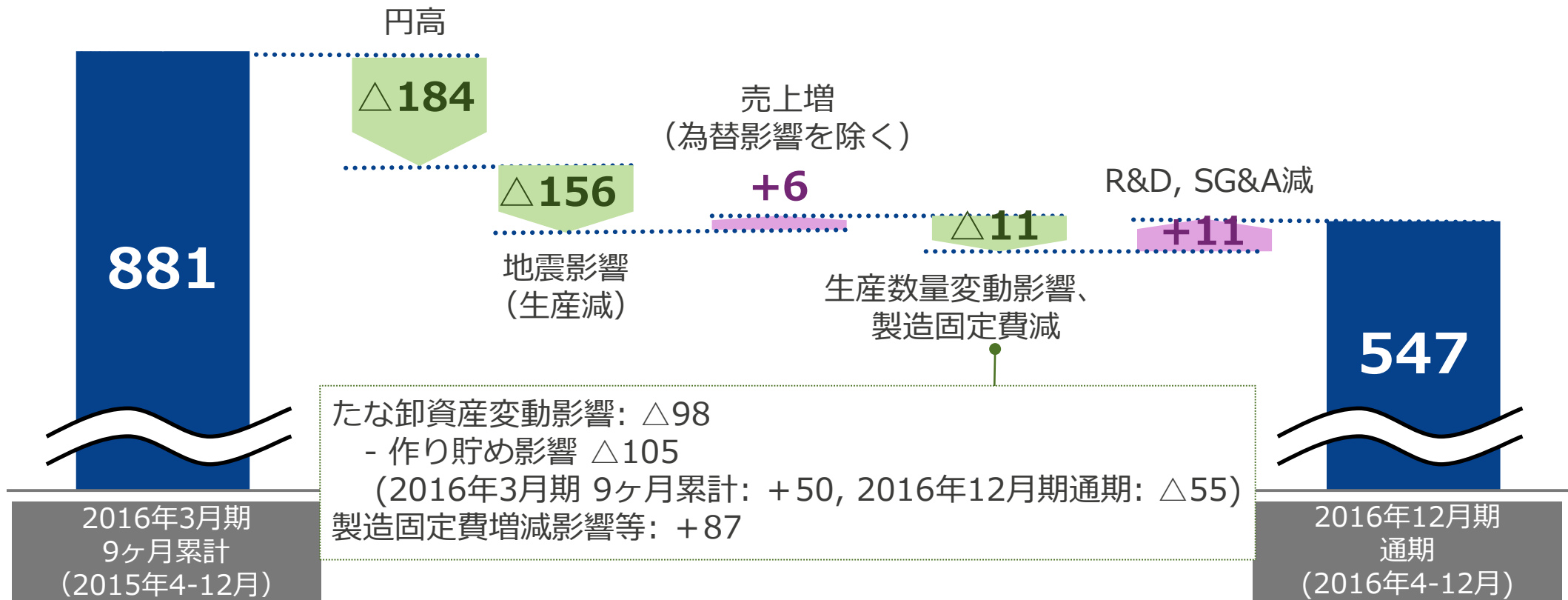


2016年12月期 通期 営業利益

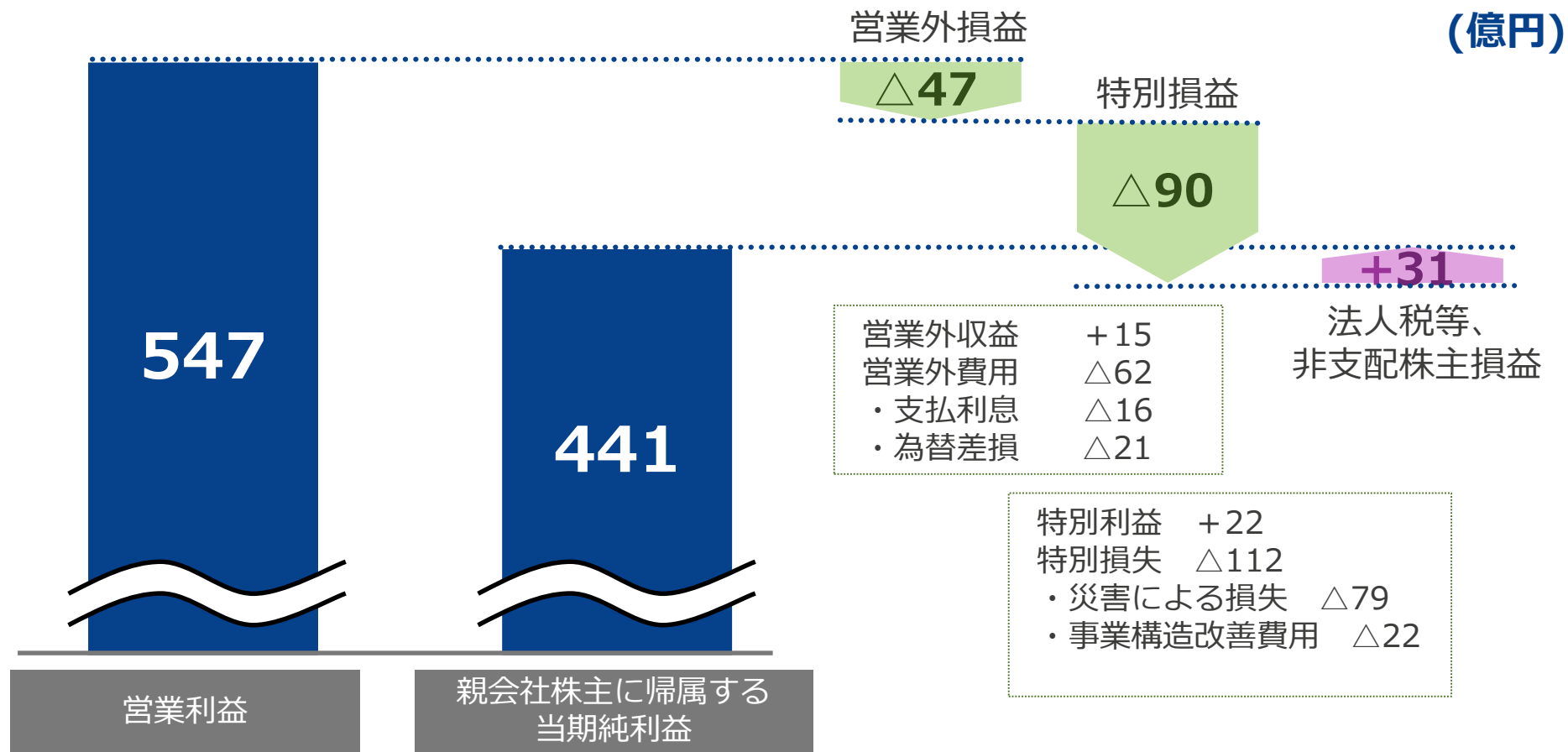
前年同期比

△ 333億円 (△37.9%)

(億円)



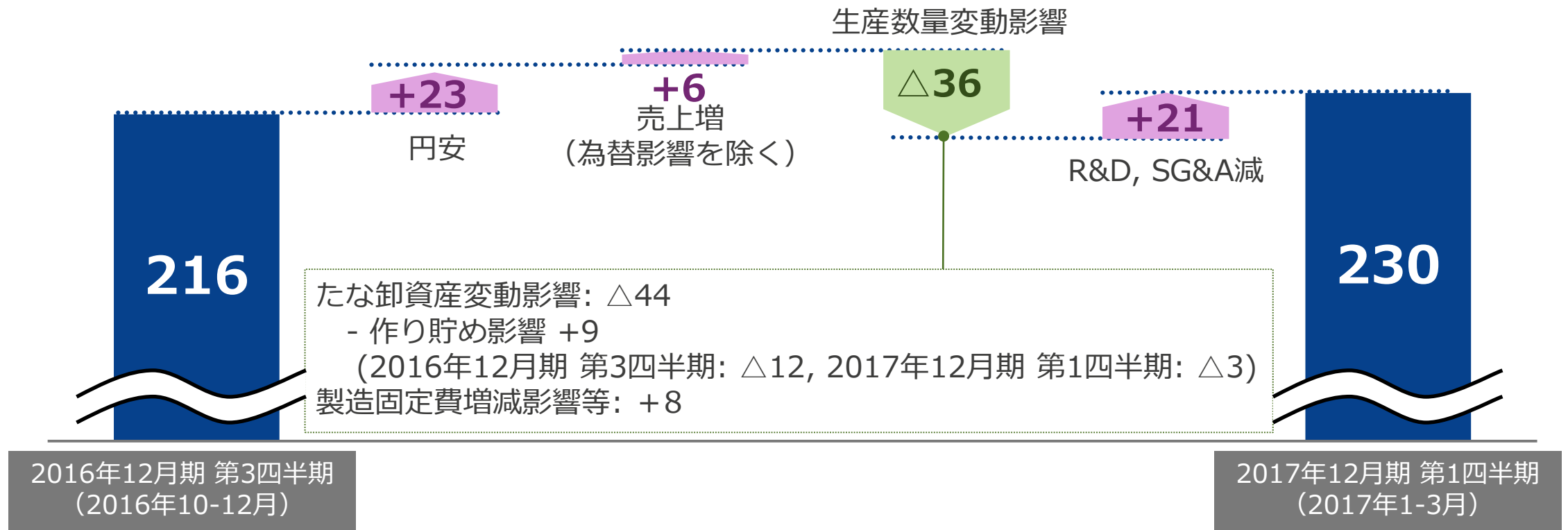
2016年12月期 通期 親会社株主に帰属する当期純利益



2017年12月期 第1四半期 営業利益予想

前四半期比 **+14 億円 (+6.5%)**

(億円)



2017年12月期 第1四半期 親会社株主に帰属する四半期純利益予想



(将来予測に関する注意)

本資料に記載されているルネサス エレクトロニクスグループの計画、戦略及び業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づきルネサス エレクトロニクスグループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、（１）ルネサス エレクトロニクスグループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、（２）市場におけるルネサス エレクトロニクスのグループ製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、（３）激しい競争にさらされた市場においてルネサス エレクトロニクスグループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、（４）為替レート（特に米ドルと円との為替レート）の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。